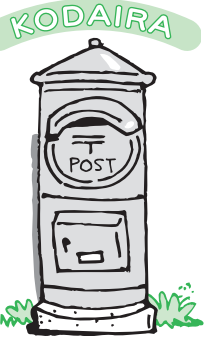


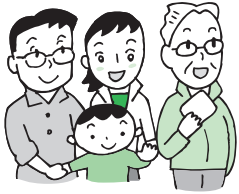
ほんわかとするまちを目指して 丸いポストのまち こだいら



小平市内には、現役の丸ポストが30本残っており、都内の自治体で保有数が最多です。
レトロな丸ポストですが、まち並みに溶け込み、多くの方に愛されています。懐かしい、落ち着いた姿に、何か癒されるような気がします。
丸ポストとともに、ほんわかとした快適なまちづくりを目指します。

問合せ 産業振興課 ☎042 (346) 9581

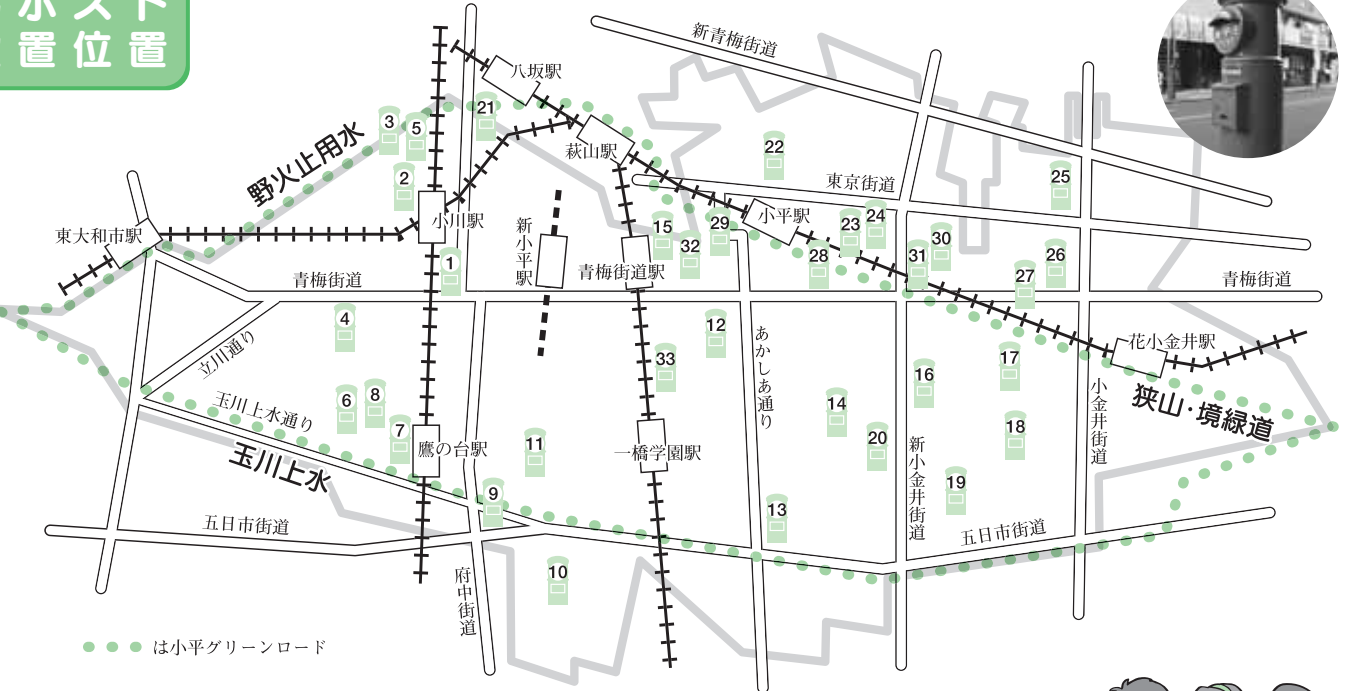
丸ポスト 設置位置



丸ポスト所在地

※()内は設置場所の目印です。
※①～⑳は、「小平市内丸ポスト設置状況 (19.6.15)」(日本郵政公社小平郵便局資料)に基づき作成しました。
※㉑と㉒は使用できません。

①	小川町1-2072 (小平小川郵便局)
②	小川西町4-14-15 (商店)
③	小川西町3-7-12 (小平小川西郵便局)
④	小川町1-783 (動物病院)
⑤	小川西町4-29-1 (マンション)
⑥	たかの台13-17 (歯科医院)
⑦	たかの台44-10 (商店)
⑧	たかの台39-3 (たかの台駅前郵便局)
⑨	上水本町2-9-3 (ふれあい下水道館)
⑩	上水本町6-15-17 (商店)
⑪	学園西町2-18-1 (商店)
⑫	仲町521 (仲町公民館)
⑬	喜平町1-10-28 (喜平橋北)
⑭	回田町201 (商店)
⑮	仲町12-14 (商店)
⑯	鈴木町1-234-1 (商店)
⑰	花小金井6-105 (商店)
⑱	鈴木町2-187 (小平鈴木二郵便局)
⑲	鈴木町1-371 (武蔵野団地南東三角公園)
⑳	鈴木町1-498 (鈴木稲荷神社南)



㉑	小川東町2-13 (小川団地)
㉒	大沼町2-439 (商店)
㉓	大沼町1-128 (七小東公園)
㉔	大沼町1-123 (都営大沼一丁目アパート東)
㉕	花小金井4-19-2 (文具店)
㉖	花小金井5-21-32 (消防署出張所)
㉗	花小金井6-1-1 (昭和病院南)

㉘	天神町2-350 (バス停)
㉙	美園町1-2-15 (商店)
㉚	天神町2-450 (公立昭和病院内私設ポスト)
㉛	天神町2-57 (小平ふるさと村)
㉜	仲町33 (小平第十四小学校)
㉝	小川町2-1333 (市役所庁舎南側樹林地横)



丸ポスト応援団

こだいら丸ポスト愛好会KOMPAS会長
内野 三次さん

事業者の立場で何かしらの地域活性化に貢献できないかと考え「KOMPAS」を発足しました。展示会や市役所のこどもコーナーの遊具など、そのつど、かかわらせていただきました。今後、特産品の開発も進めながら、地域と歩み、地域とともに成長していく事業者を目指してまいります。



こだいら丸ポスト愛好会KOMPAS企画担当
渡辺 千鶴子さん

昨年末、急な企画でしたが丸ポスト卓上カレンダーを制作させていただきました。広告クリエイターの経験と技術をまちづくりに生かしていただくことが、多少なりともできることに喜びを感じています。小平らしい、ほかにはないまちのイメージ作りに貢献したいと思っています。



日本郵便小平支店支店長
林 健志さん

「丸いポストのまち」が誕生したのは去年の秋。丸ポストに夢を託す写真家の庄司さんやまちを愛する多くの人々との出会いで、新たな価値が生まれました。丸ポストが、ブルーベリーとともに、心豊かな小平のまちづくりに貢献することを願っています。



KOMPASとは... KODAIRA・MARUPOSUTO・AIKOU SOCIETYの頭文字を取って名付けたのが、KOMPAS (コンパス) です。コンパスは、ラテン語で「羅針盤」を意味する言葉です。
愛らしい丸ポストを小平の魅力のひとつと考え、情報提供やイベントを展開し、人とまち、人と人をつなぐ架け橋であり、未来への羅針盤となることを目指して発足されました。

丸ポストのあれこれ

東京で一番
丸ポストは、全国で約5千本、都内で約2百50本が稼働しています。小平市には、今でも30本あり、都内で一番多く残されています。

丸ポストの歴史
日本で郵便制度が始まったのは明治4年(1871年)で、脚付の台に四角い箱をのせた木製ポストが使用され、「書状集箱」や「集信箱」などと呼ばれていました。丸ポスト「郵便差出箱1号(丸型)」が使用されるようになったのは、昭和24年(1949年)のことです。

丸ポスト復活
「小平ふるさと村」に移設、保存されてきた丸ポストが、今年4月、郵便事業(株)により現役復帰しました。

なぜ、小平市には都内で一番丸ポストが多いのでしょうか
はつきりとは分かっていませんが、昔からポストは商店やたばこ屋の前に置かれていて、角型に切り替える際に店主の意向を聞かれたそうので、「愛着があるからそのままにしてほしい」という店主の要望が多かったとか。効率性だけを求めるのではなく、多少不便であっても、古き良きもの、愛着のあるものを大切に使うという小平の市民性があるのではないのでしょうか。

丸いポストのある風景 ポストカードフォトコンテスト

手書きのはがきや手紙は、心と心を通わせる喜びがあり、それを投かんする丸ポストには懐かしさと郷愁、親しみを感じさせる姿があります。国内各地には、まだ丸ポストが残っています。その活躍ぶりを探索、紹介してもらい、郵便ポストと暮らしや風景とのかわりをとらえた作品を募集します。

テーマ 国内にある丸ポスト
「郵便差出箱1号(丸型)」を題材にした暮らしと風景
募集期間 11月1日(土)～30日(日)
問合せ ㈲小平市文化振興財団
☎042 (345) 5111
☎http://www.runekodaira.or.jp



東京文化財ウィーク関連事業 文化財特別展 こだいらの郵便

小平ふるさと村正門のすぐ内側にあり、村のシンボルにもなっている旧小平小川郵便局舎は、明治41年(1908年)に建てられたもので、専用の局舎としては国内でも最古の部類に属する貴重な建築物です。
この局舎が、11月15日(土)に築100年を迎えるのを機に、今年度の文化財特別展では、市内外の郵便局やポストの写真、昔の郵便物などを展示して、近代郵便制度や地域の郵便局について紹介いたします。

とき 10月7日(火)～11月16日(日) 午前10時～午後4時
※10月14日(火)・20日(月)・21日(火)・27日(月)、11月4日(火)・10日(月)は休園。
◆ギャラリー・トーク
とき 10月13日(月・祝) 午前11時～11時30分
講師 近辻喜一さん(郵便史研究会理事)
——共通——
ところ 小平ふるさと村(天神町二丁目57番地)
費用 無料
問合せ 生涯学習推進課 ☎042 (346) 9501

